

[バドミントン]

木村・梨木ペア準優勝

全日本学生 全日本学生バドミントン選手権が10月14日から20日まで、名古屋市体育館ほかで行われた。女子ダブルスで木村綾(経営2・金沢向陽高)・梨木春花(商2・金沢向陽高)ペアが準優勝を果たし、11月29日からはじまる全日本総合選手権の出場権を獲得した。

「なんとしても勝ちたい」という強い思いで順調に勝ち進み、準々決勝、準決勝も2—1で制した。今大会シングルス優勝の平山と木村ペア(早大)との決勝は、最後まで粘り強く戦った

が12—15、14—17の僅差でセットカウント0—2と惜敗。あと一步届かなかった。今大会の結果について「満足していない」と梨木。「苦しい場面でも強気で打っていく精神力とスタミナが必要」と、今後の課題を語った。



準優勝ペアの木村(左)と梨木

(橋本 麻未・経済2)

[ローラースケート]

女子が総合優勝 男子は総合3位に

全日本学生 全日本学生ローラースケート選手権が10月7日から9日まで、長野県千曲川リバーフロントスポーツガーデンローラースケート場で行われた。女子が2年ぶり7回目の総合優勝を飾り、男子が総合3位の成績を収めた。

【女子】スピード部門では1600メートルリレーで優勝し団体2位を獲得。さらにホッケー部門で優勝し、濱野愛(文3・南平高)が最優秀選手賞と打点賞、土屋舞(文3・上溝南高)が最優秀GK賞を受賞した。

【男子】スピード部門では1600メートルリレー優勝をはじめ、5000メートルエルミネーションで鈴木啓太(経済3・甲府西高)が優勝、市村基裕(文2・岩村田高)が2位。1500メートルで鈴木が2位、山口太郎(経営4・専大北上高)が3位。300メートルで山城暁太(経営3・掛川西高)が3位と、上位を席卷し団体を制すも、ホッケー部門がふるわず、総合3位に終わった。



女子ホッケー部門優勝の土屋(左)、濱野(中)。右は男子5千メートルエルミネーションを制した鈴木

(加藤 未希・文1)

[ラグビー]

開幕5連勝 首位を走る

関東大学リーグ<2部> 佳境を迎えた関東大学ラグビーリーグ戦(2部)。専大は11月6日に行われた山梨学院大戦を27-26で制し、拓大と並び、無傷の5連勝でリーグ首位に立っている。

【国際武道大戦(10/16)55-0】前半から流れをつかみ、CTB宮原田智史(商4・大阪工大高)、HO中比良卓哉(商1・啓光学園高)がトライを挙げるなど、OF陣が爆発。後半もFL青柿太巳(経営4・御所工高)のトライなどで加点し、相手に見せ場を作らせず、完封勝利を飾った。

【国士大戦(10/29)35-7】FL須田康夫主将(商4・仙台育英高)が開始早々トライを決めるなど、14-7で前半終了。後半、NO8高藤翔(経済3・天理高)が連続トライを奪うと、そのまま相手を寄せつけず、格の違いを見せつけた。

「もっとテンションや集中力を上げ、チームとして一つ一つの精度を上げていきたい」と仲宗根弘明監督。残すは埼玉工大、拓大との2試合。さらにチーム力に磨きをかけて、挑んでもらいたい。

(宮山 友希・文2)



女子ホッケー部門優勝の土屋(左)、濱野(中)。右は男子5千メートルエルミネーションを制した鈴木

[アメリカンフットボール]

グリーンマシーンは4位に

関東大学リーグ アメリカンフットボールの関東大学リーグ戦は全日程が終了。グリーンマシーンは3勝3敗でリーグ4位に終わり、クラッシュボウル出場を逃した。

10月15日、川崎球場で行われた横国大戦。中田雅之(法2・平安高)の思い切りの良いパスがOF陣の勢いを後押し、38-16と勝利。続く22日、アミノバイタルフィールドでの日大戦は、敵にロングパスを多く決められ0-53と完封負けを喫した。そして11月3日。「プライドを賭けて戦いました」と岡監督が語った東海大戦では、ディフェンス陣のパスインターセプトや好プレーが試合の流れを引き寄せる。また、1年次生の活躍も目立ち、中村駿(法1・浦和学院高)や青木大介(ネット情報1・桃山高)らが得点を挙げ、10-7で勝利した。

11月13日、横浜スタジアムで行われた法大戦は17-40で敗れた。



「10」は村山和磨(撮影=宮山)

(中川 泉穂・文2)

[バスケットボール]

関東大学バスケットボールリーグ戦 関東大学バスケットボールリーグ戦が9月10日から10月23日まで、代々木第2体育館ほかで行われ、専大は6勝8敗、全8チーム中6位に終わった。
また、関東女子学生リーグ戦(9月3日～10月16日、代々木第2体育館 ほか)は5勝9敗で7位。入れ替え戦で東京学芸大に敗れ、来季は2部で戦うこととなった。

(荻野 敦子・文1)

(田口 能成・経済1)

[野球]

勝ち点3で3位

東都大学野球秋季リーグ戦<2部> 東都大学野球秋季リーグ戦(2部)は全日程を終了し、専大は6勝7敗1分の勝ち点3で3位に終わった。今季は主力選手のケガに苦しんだ。しかし、代わりに出場した1、2年次たちにとっては良い経験となり、来季につながるはずだ。長谷高成泰監督は「技術、精神両面を鍛え、来季は自信を持って挑みたい」と話した。

(清水 智之・ネット情報2)

[アーチェリー]

女子・小川3位 男子・団体5位

フロンティアカップ 10月19日から21日まで、駒沢第1球技場で、関東学生アーチェリーフロンティアカップが行われた。

【個人】女子は、小川真樹子(ネット情報2・志学館高)が3位決定戦を101-99で制し、3位入賞。海老名里美(法3・県立船橋高)が5位。男子は、下田岳史主将(経済4・西湘高)が4位となった。

【団体】青木悠一郎(経済2・巻高)、佐多由奨(商3・武岡台高)、中川智裕(法1・大分東明高)組が、5位入賞を果たした。

今年、勢いのあるアーチェリー部。今大会でも好成績を残した。次は新人選手権。可能性を秘めたルーキーたちの活躍からも目が離せない。

(荻野 敦子・文1)

[卓球]

下川、川田が優勝

会長杯シングルス 10月24日から26日まで、所沢市民体育館で会長杯争奪卓球大会が行われ、男子シングルスで下川裕平(経営1・明豊高)が、女子シングルスで川田純子(文3・文大杉並高)が優勝。来年10月の全日本学生選手権への出場権を獲得した。

下川は「攻める卓球」で準決勝、決勝を3-0で快勝。「優勝できると思わなかったのでうれしい」と喜びを語った。

一方、「緊張せずにプレーすることを心掛けた」という川田。「全日本学生でも上位を狙えるよう練習に励みたい」と意気込みを話した。

(中西 俊介・ネット情報2)

[合気道]

年に一度の発表の場

全日本学生演武大会 全日本学生合気道演武大会が10月8日、日本武道館で行われた。合気道部にとって1年間で唯一の発表の場であり、この大会への部員たちの思い入れは強い。日頃の稽古の成果を存分に発揮。演武大会のため順位こそつかないが、部員たちは堂々とした演武を披露した=写真。

(澤田 和輝・法2)



国体活躍選手

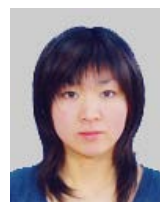
岡山県で行われた夏季・秋季国民体育大会に本学から多くの選手が出場し、各県の代表として活躍した。

【フェンシング】今野勝(商4・川俣高＝福島県代表)は成年男子サーブル団体に優勝。舟山紗智(経済3・米沢東高＝山形県代表)も成年女子フルーレ団体の優勝に貢献した。

【ボクシング】川内将嗣(商2・龍谷高＝佐賀県代表)がウェルター級で優勝を遂げた。



今野勝



舟山紗智



川内将嗣

《OB・OGコーナー》

出島さんが神奈川県スポーツ賞を受賞

出島茂幸さん(平17商)に、国内外のスポーツ大会で顕著な活躍をした選手を称える「神奈川県スポーツ賞」が贈られた。国民体育大会冬季大会のスピードスケート成年男子5000メートルで2年次からの3連覇が評価された。

中川さんがABAストロングドッグズに入団

中川和之さん(平17経済)がプロバスケットボールの米独立リーグ、ABAのハーレム・ストロングドッグズに入団した。開幕ベンチ入りが保証されているアクティブ・コントラクトでの契約で、将来のNBA入りが期待される。

《記録コーナー》

◇居合道部

▽東日本学生大会(10月30日=国士大)【個人】山本祐樹(経済4・高水高)=3位【団体】ベスト8

◇バレーボール部

▽秋季関東大学リーグ戦(2部=9月10日~10月9日、生田総合体育館ほか)【リーグ戦】3勝4敗=5位
【5~8位決定リーグ】6勝4敗※最終成績=5位

◇フェンシング部

▽関東学生選手権(10月4~7日、駒沢屋内球技場)【男子】エペ・田中育一(法3・富山西高)=4位、サーブル・池澤春光(経営4・鳥取西工高)=3位、サーブル団体=3位【女子】フルーレ・舟山紗智(経済3・米沢東高)=2位、エペ・相内蘭子(経済4・今別高)=3位、エペ団体=3位、サーブル団体=4位